

3年連続1兆円の利益

05国民春闘



# トヨタ自動車は 社会的責任を

会社（トヨタ自動車）は3年連続1兆円をこす利益をあげながら、またもベースアップはしないことを明らかにし、労組執行部もベア要求を見送りました。

JR東海は「トヨタですらあげていない」と労働者の要求を拒否。トヨタの「ベアゼロ」は日本全体の労働者の賃上げに否定的な影響をあたえています。トヨタの労働者や市民はもちろん、日本全体のことを考えることこそ「企業の社会的責任」です。

サービス残業が問題になっています。行政当局も根絶にむけて対策を強化しています

が、経団連（奥田碩会長）はこれを「労使自治への介入」と抗議する始末。

法律・規則を守って、サービス残業をなくし労働時間を短縮すべきです。

## 青年の雇用拡大を

期間工・派遣労働者が増えています。正規社員との均等待遇や青年の雇用拡大も「企業の社会的責任」です。



まともな賃上げ・労働条件改善へ

サービス残業・長時間労働なくそう

05国民春闘・トヨタ総行動実行委員会

連絡先：トヨタ総行動実行委員会  
名古屋市熱田区沢下町9-7  
労働会館東館3F 愛労連内  
TEL:052-871-5433 FAX:052-871-5618

# 最適地調達?

部品下請業者

## 下請・地域に利益を還元せよ

排ガス対策後付装置をつくり  
大気汚染患者の救済制度確立を

### 約7割の中小が赤字

豊田市内の下請・中小零細企業は、7割が赤字というたいへん厳しい経営を強いられています。親企業からのたび重なるコストダウンで、「売上げはあるものの利益は少ない」というのが現実です。

トヨタ自動車や関連グループ企業はいま、部品は「最適地調達」で東南アジアなどからも調達。「以前は系列で安心だったがいまはいつ切られるか」・・・下請企業の不安は高まるばかりです。

「原価低減運動 (CCC21)」

に続き、「BT(ブレークスルー)2」が下請企業の経営を圧迫しているのです。

「トップ企業だけが大幅に儲けられるのか」と疑問の声もあがっています。

### 下請・中小守ってこそ

下請・中小零細企業の経営者が安心して営業できること、働く人たちの環境をつくり、地域経済活性化をすすめることも、大企業の「社会的責任」です。

NOxPM規制への対応が深刻化するなか、トヨタ自動車はいまだに「後付装置」を実用化していません。1000万円以上のトラック・ダンプでは、使用過程車対策が不可欠です。トヨタ自動車のリーダーシップで早期に「後付装置」の開発をすすめるべきです。また、大気汚染患者はいまも急増。自動車メーカーの責任による救済制度確立は急務です。



いっせいに受注がなくなると、単価切り下げもカマシ